



2011年12月1日 本日注文してあったC's MARCHE製のオイルミストセパレーターが届いた。それは、現在装着使用しているProva製オイルセパレーターの、ブローバイガスとオイルミストを分離する機能に疑問があること、また本体の取付場所がオイルフィルター口なので、インテークヘリターンするブローバイガスの量がかえって増えるのではないかという疑念があるためだ。先ほど実施したリコール対策作業中に取り外した純正インテークパイプを確認したところ、内側がオイル分で湿った状態だったことから、オイルミストの分離機能が不完全か、オイルフィルター口からガスをリターンしている構造的な問題があると考えた。そこで今回、Provaオイルセパレーターの使用を止め、C's MARCHEのオイルミストセパレーターに切り替えることにした。エンジンオイル交換時に装着予定。



オイルを確実にリターンするため、ドレンプラグにエアチェックバルブ内蔵のアダプターを取り付ける

PCVを確実にするため、機能を最優先に作り込まれたスワールポット。なかなか美しい



SUBARU Impreza WRX STI spec C type RA-R

C's MARCHE
Oilmist-Separator

2012年1月15日 今日、昨年の暮れに購入してあった、C's MARCHE オイルミストセパレーターを装着するため、併せてやや早いオイル交換を実施するために、三重スバルを午前10:00に訪れた。今回、予め担当メカニックは、倉田さんを指名した。

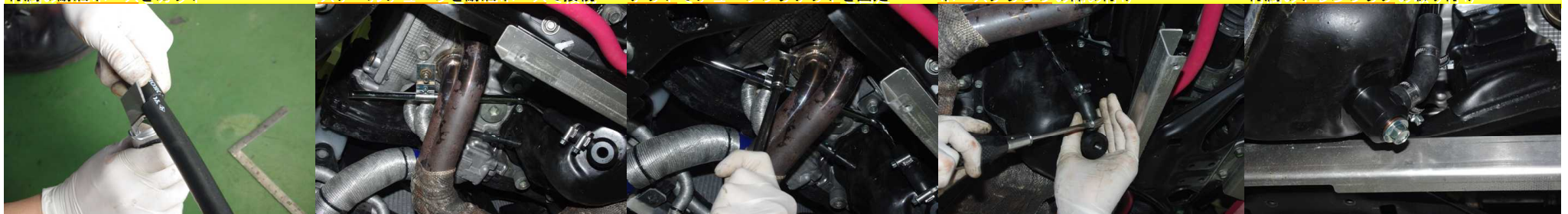
早速、オイルを抜き取る → これがドレン口に装着するアダプター



おおむね上向きになるように、ワッシャーの枚数を調整して装着 → スチールチューブを固定するためのチューブブラケットを取り付ける → ブラケットを固定するためナットを外す



付属の耐油ホースをカット → スチールチューブを耐油ホースで接続 → ナットでチューブブラケットを固定 → ホースクランプの締め付け → 付属のドレンプラグの取り付け



スチールチューブのもう一方にもホースを接続 → これでオイルミストセパレーターの下回り配管終了 オイルエレメントの交換



これがオイルミストセパレーターのタンク本体、スワールポットになっている



2012年1月15日 さて
いよいよC's MARCHE オイルミ
ストセパレーターのタンク本体のエン
ジンルームへの取り付けである。
このクルマの場合、バッテリー前
部には、ウォッシャータンクの注
入口があり、それが邪魔で取り付
けスペースは無い。そこでホット
イナズマハイパー本体が取り付け
られている、左ストラットハウジ
ング前のスペースが最適だと判断
し、早速ホットイナズマハイパー
本体をバッテリー前部のスペース
に移設した。そしてなんと、タン
クマウントを、ストラットハウジ
ングに固定するのに、これ以上無
いほど最適な、スチール製の変形
し字ステーが、メカの倉田さんの
ツールケースの中から見つかった。

タンク本体に付属のタンクマウントを取り付ける



ホットイナズマハイパーの本体を取り外す



ホットアースの配線を一旦取り外す



配線の取り回しをした後、スロットに取り付ける



ホットイナズマハイパーのステーを最適に改造



ホットイナズマハイパーの本体の移設完了



倉田メカのツールケースの中から出てきたパーツ



倉田さん、本当にありがとう！

まるで逃えたかのようにネジ位置までピッタリフィット



しかもサスペンションパーツだったらしく、強度もバッチリ



まずオイルラインを接続



固定強度を考えて、マウントを敢えて逆さまに…



車両側のステーにマウントを固定する



ブローバイホース(エンジン側)の接続



ブローバイホース(インテーク側)の接続



オイルミストセパレーターへの装着完了

2012年1月15日 下回りの配管も終わり、ホットイナズマハイパー本体の移設が済んで、最適なタンクマウントの取り付けステーも準備出来たので、後はオイルミストセパレータータンク本体へ、オイルラインとブローバイホースを接続して、ステーにマウントを固定すれば、オイルミストセパレーターの装着は完了だ。ところが、まだ作業が残っていた。エンジンオイルのドレンプラグにアダプターを取り付けたので、オイルパンよりやや下に、ドレンプラグの頭が突き出てしまったために、アンダーパネルが干渉して、そのままでは装着出来ないのである。いろいろ方法を考えて、結局干渉する部分に穴を開けることにした。また倉田メカの仕事が増えてしまったわけだが、まずアンダーパネルの干渉部分の位置に見当を付けて、簡単にマジックでマーキングした。マーキングした位置の四隅にドリルで穴を開けて、それに合わせてグラインダーカッターで角穴をカットしていった。穴の角を簡単にサンドペーパーで磨いて完成だ。アンダーパネルを取り付けるとピッタリだった。



結果的にこの場所がベスト



新品オイルを注入



フリーハンドでサクサクとカット



バリ取り



位置もピッタリ！お見事！



作業終了！